



学校での活動

校長 赤尾 眞司

2学期も半分が過ぎました。10月半ばまでは暑い日が続いたのですが、10月後半から快適な気候になってきました。10月9日の学校公開には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。久しぶりの公開で、子供たちも教員も少し緊張した授業だったのではないかと思います。

子供たちが運動をするのには絶好の季節になりました。学校では今、どの学年も運動発表会に向けての練習を行っています。6日は1・2年生、13日は3・4年生、5・6年生が行います。今年度は2学年合同で行い、お互いの発表を見合えるように考えました。昨年と同様に、徒競走は順位をつけません。密を避け、たくさんの拍手で応援してください。

緊急事態宣言が解除されて一ヶ月が過ぎました。学校での基本的な感染症対策はこれまでと変更はしていません。間を開ける、マスクを着用する、手洗いをする、換気をする、毎日の検温に確実に取り組んでいきます。その上で活動できることを多くしてきました。縦割り班活動の再開、休み時間や体育の授業でのボールの活用、音楽科での楽器の演奏や歌の指導も始めることができました。子供たちがお互いに集い話し合う時間を増やし、より楽しく充実した学習活動を実施していきたいと考えています。

○縦割り班活動

本校では、遊びを通じた異学年交流として、縦割り班活動を実施してきました。交流を通して上級生としての自覚を育てることと、下級生は人間関係を広げることをねらいとして取り組んでいます。また、できるだけ子供たちの自主性を活かした活動にすることで、高学年児童の自己肯定感の育成にもつながっていると考えています。活動の一つ「ふれあいロング集会」は、1時間での遊びを計画して実施します。もう一つは「ふれあいあそび」で、これは月1回中休みに縦割り班で遊ぶ活動です。昨年度からの感染症予防のために、縦割り班活動がほとんど実施出来なくなりましたが、10月22日の中休みに、久しぶりに「ふれあいあそび」を実施することが出来ました。当日はあいにくの雨でしたが、体育館と教室を使って、班ごとに考えた遊びを楽しむ様子を見ることが出来ました。

○学び合う学習活動

コロナ禍の1年半、感染防止のために、マスクを着用して、大きな声で話さない、間隔を開けての生活習慣でした。そのために以前よりも発表の声が小さくなり、自分の意見を話す機会も少なくなっていました。小学校は、子供と教員、子供同士が意見交換することで考えを深めていく学習活動を大切にしています。本校でもペア学習、少人数でのグループ学習、全体での協議などの学習形態を取り入れてきました。まだマスク着用や、距離の確保など感染予防を考えての実施になりますが、学び合う活動をすすめ、子供たちの考えを深めるようにしていきます。また、今年度から活用しているタブレットを使っての学び合いも試行しています。

○音楽科での歌唱指導

音楽科の歌唱指導ができるようになりました。教育委員会からはマスク着用と身体的距離の確保の指導はありますが、できる限り広がって、換気をしっかりとする中で歌唱指導を実施しています。子供たちの歌声が響く、以前の学校に戻っていきたくないと考えます。

○いじめ一掃取組月間

11月は、練馬区小中学校一斉ふれあい（いじめ防止強化）月間です。本校では「心のやさしい子、友達を大切にする子、何ごとにもがんばれる子」の育成を目指して、日頃から子供たちが元気で楽しい学校生活を送れるように指導を進めています。これからも保護者の皆様と連携して、「いじめ」のない学校づくりに取り組んでまいります。今年度は、全校で「いじめ防止シンボルマーク」を考えていきます。

ご家庭でもお子様と学校での出来事など話し合う時間をもつとともに、友達を大切にすることや暴力はいけないということについても話し合ってください。コロナ感染症でも子供たちの心を痛めていることがあります。お子様に心配なことがありましたら、どんなことでも早めに学校に相談してください。